

製品名: アンジオポエチン様4 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe85284**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000
分子量	Calculated MW: 45 kDa; Observed MW: 55 kDa

抗原情報

遺伝子名	Angiopoietin Like 4
別名	NL2; ARP4; FIAF; HARP; PGAR; HFARP; TGQTL; UNQ171; pp1158
遺伝子 ID	51129.0
SwissProt ID	Q9BY76
免疫原	ヒトアンジオポエチン様4の組み換えタンパク質

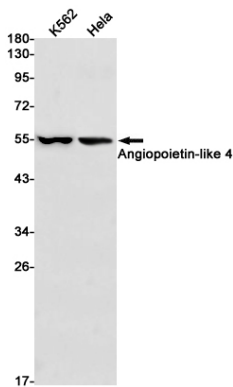
背景

内皮細胞において低酸素誘導性発現を示すタンパク質。血管新生の調節因子として作用し、腫瘍形成を調整する可能性がある。内皮

細胞の増殖、遊走、および細管形成を阻害し、血管漏出を減少させる。内分泌作用を介して内皮細胞を保護する機能を発揮する可能性がある。グルコース恒常性、脂質代謝、およびインスリン感受性の調節に直接関与する。低酸素状態に反応して、未処理のタンパク質が内皮下細胞外マトリックス (ECM) に蓄積する。マトリックスに結合し固定化された未処理のタンパク質は、接着している内皮細胞におけるアクチンストレスファイバーと焦点接触の形成を制限し、それらの接着を阻害する。また、内皮細胞の運動性を低下させ、発芽および管腔形成を阻害する。

研究分野

画像データ



アンジオポエチン様 4 抗体を使用した K562、Hela 溶解物中のアンジオポエチン様 4 のウェスタン ブロット分析。